

# ネパールを想いながら、世界につながる

学校所在府県：兵庫県

学校名：赤穂高等学校定時制課程

名前：上内 伸一郎（情報）

実践教科：総合的な学習の時間

指導時数：5 時間

対象学年：高等学校全学年

対象人数：40 人（3 クラス）

## 1. 教師海外研修を通して感じたこと

「ネパール連邦民主共和国」。とらえどころのないこの不思議な国は、大きな魅力と困惑をもちあわせていた。豊富な資金があれば、解決する問題も、「貧困」のために解決することができない。一つの問題の解決のためには複数の問題を解決しなければならない。発展途上国の問題解決の難しさを感じた。その中でも「教育」を支援するということは、お金で解決できない様々な問題も含め、すべての問題を持続的に解決していく可能性を秘めている。私が担っている「教育」の仕事も間接的には世界を変える仕事である。人々が正しい理解や価値観を手に入れることこそが、その国の発展につながり、世界の発展にもつながると思う。

物質的に豊かな日本の生活は、何かを得ると同時に何かを失っていることにネパールで気づかされた。日本では気づかないうちに失われていく大切なものが、ネパールには依然として残っているように感じられた。発展途上国の問題、ネパールの持っている魅力も合わせて生徒たちに伝えたいと思う。

## 2. カリキュラム

### (1) 実践の目的・背景

本校定時制のほとんどの生徒たちは、働きながら学んでいる。高校卒業後就職を目指している生徒も多く、学校では社会人基礎力を育む学習が中心となっている。昼間働きながら、夜に学ぶ多忙な生活スタイルの中では、国外の事情に興味を向ける機会も少ないように感じている。学校ではボランティア活動が活発に行われており、生徒達も社会貢献ができることに喜びを感じている。

ボランティア活動が行われている下地を活かしながら、今回の実践では、生徒たちに世界に目を向け、自分たちの身近な活動が国際貢献につながることを実感させたい。また、発展途上国の実情を学びながら、自分達の豊かな暮らしが、多くの人々の努力によって成り立っていることに気づき、自分自身も社会の一員として、積極的に参画していくことの大切さを感じさせたい。

### (2) 授業の構成

| 時限・テーマ・ねらい                                   | 方法・内容                                                                                                                     | 使用教材                                                                                    |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1 時限目</b><br>ネパールを感じる<br>*ネパール研修報告。       | <ul style="list-style-type: none"><li>●ネパール研修 10 日間を振り返り報告する。</li><li>●写真・動画などを利用し、視覚的に学ぶ。</li></ul>                      | <ul style="list-style-type: none"><li>●写真 / 動画<br/>(パワーポイント)</li><li>●ネパールの服装</li></ul> |
| <b>2 時限目</b><br>ネパールを知る①<br>*さまざまな文化について学ぼう。 | <ul style="list-style-type: none"><li>●写真・動画を見せながら説明する。<br/>・ネパールの気候・教育・料理・文化を知る。</li><li>●ネパールのお菓子も試食する。</li></ul>       | <ul style="list-style-type: none"><li>●写真 / 動画<br/>(パワーポイント)</li><li>●ネパールのモノ</li></ul> |
| <b>3 時限目</b><br>ネパールを知る②<br>*さまざまな文化について学ぼう。 | <ul style="list-style-type: none"><li>●写真のスライドを見せながら説明する。<br/>・ネパールの交通・田舎暮らし・問題点を学ぶ。<br/>・JICA ボランティアの活動について学ぶ。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>●写真 / 動画<br/>(パワーポイント)</li><li>●ネパールのモノ</li></ul> |

| 時限・テーマ・ねらい                                | 方法・内容                                                                                                                            | 使用教材                                                                                                        |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4 時限目</b><br>ネパールの交通安全<br>*交通問題を考えよう。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネパールの交通安全の取り組みについて学ぶ。</li> <li>●ネパールの交通事情について調査する。<br/>・グループで話し合いながら、意見交換を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●写真 / 動画<br/>(パワーポイント)</li> <li>●インターネット</li> <li>●コンピュータ</li> </ul> |
| <b>5 時限目</b><br>交通安全ポスター作り①<br>*図案を考えよう。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネパールの交通安全ポスターの図案を考える。<br/>・ネパールの交通問題の原因を考える。<br/>・図や言語での伝え方を考える。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●写真 / 動画<br/>(パワーポイント)</li> <li>●インターネット</li> <li>●コンピュータ</li> </ul> |
| <b>6 時限目</b><br>交通安全ポスター作り②<br>*ポスターを作ろう。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネパールの交通安全ポスター作り。<br/>・伝えたい内容を精選する。<br/>・日本語をネパール語、英語に翻訳する。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●画用紙</li> <li>●絵具</li> <li>●ポスターカラー</li> <li>●カーボン紙</li> </ul>       |

### 3. 授業の詳細

#### 1 時限目：ネパールを感じる

ねらい…研修報告とネパールに関する基礎知識を学ぶ。  
ネパール地震、ネパールの防災教育について知る。

##### ◆内容◆

- ①ネパール滞在      ②ネパールの謎
- ③ネパールの防災    ④ネパールの諸問題

##### ! ココがポイント

ネパールの地理的な位置を確認し、ネパールの概要を学ぶ。  
日本との違いを実感させ、興味を持たせる。  
ネパール地震と防災教育について紹介する。

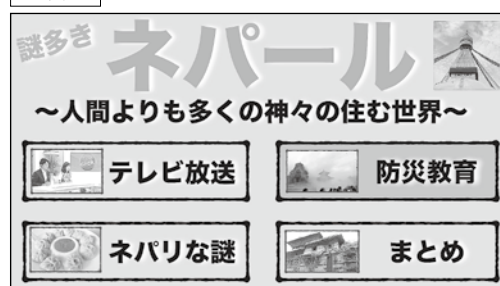
##### 生徒の反応

- ▶ネパールの伝統衣装を見て、着てみたいという生徒もいた。素材や値段について詳しく質問してくる生徒もいた。
- ▶ダルバートについて、「どんなカレーか食べてみたい」という意見が多かった。

##### 生徒の感想

- ▶手で食事をするなんて、私だったらできない。
- ▶ネパールは、ヒンズー教が多いとは知らなかった。

##### 資料 1



研修報告会

◆所感◆ 突然の「ナマステ～」問いかけに、何人かの生徒が「ナマステ～」と返してくれたことに、多くの驚きと、海外に対する生徒の興味・関心の高さに授業の可能性を感じた。ネパールに対する知識が全くない生徒達が「ナマステ～」という言葉を知っている事実は、テレビやインターネットの普及で誰でも世界の言語に触れる機会が増えているという事実である。この授業を通じて、生徒達が持っている知識とネパールが一致したことに、成果があったようにも思う。

生徒達の興味関心もそれぞれで、民族衣装やデザインや模様に興味を持つ生徒や、ネパールの紙幣に興味を持つ生徒もいた。ネパール衣装を着て登場したこともかなりの効果があった。

## 2時限目：ネパールを知る①～前編～

ねらい…研修の訪問先について詳しく知る・学ぶ。

### ◆内容◆

- ① ネパールの気候      ② ネパールの教育
- ③ ネパール料理      ④ ネパールの文化

### ！ココがポイント

研修で訪問した場所や施設を切り口にネパールの諸事情について学んでいく。日本の生活文化と比較しながら、ネパールの特徴を把握する。



パティパシュナート

### 生徒の反応

- ▶ パティパシュナートの火葬場のシーンでは、他人に見せていいものなのかと戸惑う生徒もいた。
- ▶ 日本の祭りに参加している生徒は、その様式の違いに驚いていた。

### 生徒の感想

- ▶ ネパールにスマートフォンが普及しているのに驚いた。
- ▶ ネパールの紙幣に文字が書いてあり、何と書いてあるのが、気になった。

◆所感◆ 写真を多用して、ネパールクイズの出題や、生徒が自由に質問できるような形で説明を行った。1時限目に比べ、より深いネパールを紹介できた。生徒たちはパティパシュナートの火葬場のシーンには大きな衝撃があるようで、言葉を失いながら映像を見ていた。日本とネパールの死に対する価値観の違いが明確に出たように感じる。授業を行い、生徒の反応を感じて、初めて私自身も違いを実感できた。

## 3時限目：ネパールを知る②～後編～

ねらい…研修の訪問先について詳しく知る・学ぶ。

### ◆内容◆

- ① ネパールの交通      ② JICA ボランティアの活動
- ③ ネパールの田舎暮らし      ④ ネパールの問題点

### ！ココがポイント

ネパールの交通事情が電力問題、大気汚染とも関係していることに気づかせる。  
発展途上国では複数の問題が複雑に絡みあっている事を知る。



ネパールの家庭料理について

### 生徒の反応

- ▶ 信号の写真を見て、「使われていない」と指摘する生徒もいた。
- ▶ ネパールの田舎の学校の様子を見て、とても同じ学校だとは思えない様子であった。

### 生徒の感想

- ▶ ネパールの田舎でも、スマートフォンやSNSなど日本と同じものがあった。
- ▶ 水だけを使ってどのようにトイレを済ませるのが気になった。私にはできないと思う。

◆所感◆ 未整備の道路状況から、電力問題や大気汚染問題につなげていくことができた。この解決が難しい発展途上国問題に、日本の支援やJICAボランティアの活動が展開されていることを紹介することができた。JICAボランティアについても生徒達はCMや体験談を見聞きしたことがあり、興味もっていた。

## 4時限目：ネパールの交通安全

ねらい…ネパールの交通安全について学ぶ。  
日本の交通安全の取り組みについても考える。

### ◆内容◆

- ① ネパールの交通安全運動
- ② JICA シニアボランティアの活動
- ③ ネパールの交通事情リサーチ

### 資料 2

ネパール交通安全ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

1. インターネットで調べて、( )内埋めてみよう！

①アジアの自動車台数は世界( )%  
②アジアの交通事故による死者の割合は世界の( )%  
③自動( )の数が非常に少ないために交通事故件数が急増  
④道路には、信号、( )がほとんどない。  
⑤( )の整備の遅れ。※インフラストラクチャ(社会基盤)  
⑥( )等が整備されていない。

2. ネパールの交通事情より、テーマを決定しよう。

※以下の事情を参考にすること

- 歩行者は車両の合間をぬって横断
- 人々の交通ルール、マナーの意識は低い
- 交差点で一時的停止しない
- 無理な追い越し
- 違法駐車
- 無秩序な道路横断の日常化
- 児童の被害者が多い
- 飲酒運転
- ながらケータイ
- 手を挙げて渡る横断歩道
- 交通量が大气汚染の原因
- 陥没や未舗装
- 該当なし
- 道幅が狭いこと
- 自動車・オートバイの増加により、昼間の渋滞。
- オート三輪、自転車、歩行者、牛、野犬等が混在
- 脇道からの車両等の飛び出し
- 雨期、道路が土砂崩れや陥没

3. あなたが選んだポスターのテーマは



交通事情

### ！ココがポイント

ネパールの交通安全の取り組みを知り、私たちにどのような支援ができるのかを考える。  
ネパールの交通事情を知り、普段の自分達の生活を見直す。

### 生徒の反応

- ▶ 道路を牛が歩いている様子の動画に驚いていた。
- ▶ 普段は気づかない日本のインフラ整備のすばらしさに改めて、感動していた。

### 生徒の感想

- ▶ 共牛を自動車ではねた場合、どのような罰則があるのか気になった。
- ▶ ネパールは交通マナーが浸透してなく、日本のマナーは素晴らしいと感じた。

◆所感◆ 日本の整った交通事情しか知らない生徒たちにとって、ネパールの交通事情はかなり特殊な世界に映ったようだ。映像でどこまで、ネパールの事情を伝えることができたかわからないが、インターネットの調べ学習で情報を補った。

## 5時限目：交通安全ポスター作り①

ねらい…ネパールの交通安全ポスターの図案を考える。  
どのような方法で「伝える」のかを考える。

### ◆内容◆

- ① ポスターの図案作成
  - ・コンピュータを利用して、下書きを作成する。
  - ・用紙に直接記入して、下書きを描く。

### ！ココがポイント

識字率が低いネパールでも伝わるポスターをつくるために、どのようなデザインにするのか、グループで話し合いを行った。



資料 3

ネパール交通安全情報 1

JICA ボランティアの高知尾さんより

歩道での注意点

1. 足元注意。腐れていたり、穴が開いていたり、汚物が落ちていることがある。
2. 頭上に注意。建物の上から水、時には溶接の火花が落ちてくる。
3. 前または後から来たバイクにクラクションを鳴らされることもある。
4. 駐車場、建物、狭い路地からいきなり一時停止などせずに、バイクや車が飛び出して来ることが多い。
5. 一歩通行の通りなのに、逆走して来るバイクがある。
6. 前方から来る人、自転車、バイクと鉢合わせしたら、左に逃げた方が安全なことが多い。



道路を横断する時の注意事項

- ① ドライバーは、横断歩道で歩行者が優先であると考えていない。
- ② 車両は歩行者の前後50センチを通過するので、走ったりしない。
- ③ 必ず横断歩道や歩道橋を使用するようにする。
- ④ 慣れないうちは他の人達（2人以上）についていく。
- ⑤ 安全だと思えるまで交通の流れの切れ目を持つ。
- ⑥ 右手を上げて自分の存在を知らせながら進む。  
センターラインに達したら、一度停止して左方をよく確認する。
- ⑦ 1台の車両が停止してくれても、その後ろの車両が止まるとは限らない（サンキュー事故になる）。



ポスター作成の様子

生徒の反応

- ▶ 自主的にインターネットの翻訳サイトを利用して、ネパール語に翻訳していた。
- ▶ 文字を利用せず、絵の組み合わせで交通安全を表現する生徒もいた。

◆所感◆ ネパールの交通安全ポスターのサンプルが見つからなかったため、日本の交通安全ポスターを参考にしながら、図案を考案させた。白紙から絵を描くことに抵抗がある生徒以外に多かったため、コンピュータで一度データ化し、配置や大きさを決めそれを下書きに利用した。

6時限目：交通安全ポスター作り②

ねらい…ネパールの交通安全ポスターを作成する。  
色や文字の大きさを考えながら配色・着色する。

◆内容◆

① ネパールの交通安全ポスター作り

ココがポイント

ポスターをネパールに届けることを目標にポスターを描いた。ポスターを実際に届けることで、身近な活動が世界とつながることを実感できる。

生徒の反応

- ▶ あまり慣れない筆やポスターカラーに戸惑う生徒もいたが、グループで役割分担してポスターを作成していた。
- ▶ 自分の作品がネパールに届けられることにやりがいを感じている様子だった。

資料 4

ネパール交通安全情報 2

JICA ボランティアの高知尾さんより

・カトマンズは9月半ばから乾季になり雨がなくなりました。道路工事も再び開始されましたが、道路下の水道管交換工事のために掘り起こした土のためホコリが舞い上がってマスクなしではいられません。この土は細かく軽いのですぐに舞い上がるのです。少し前のニュースではカトマンズが大気汚染で世界のワースト7に入っていました。

・1年前から停電がほとんどなくなりましたので、信号機を使用する交差点が現れそうです。

・10月末からはタメル地区の南北1車線が歩行者天国になりました(写真)。





ネパール交通安全ポスター

◆所感◆ 生徒たちの作品は、表現力豊かで、オリジナリティに溢れていた。自分たちができることを切り口に、世界とつながっていくことは、とても良い教育活動だと感じた。また、すべての作品が完成していないが、完成したら是非、全作品をネパールに送りたい。

#### 4. 成果

「授業」を通して生徒たちが少なからずネパールに興味を持ったことは大きな成果であった。私の体験を通して追体験したネパールが生徒達の中でどのようなものになっているのか、はかり知ることはできないが、生徒たちにとって新しい世界観が開かれたことを期待したい。私自身はネパールの体験を生徒に伝えることの難しさと、生徒の取り組み姿を観察しながら、生徒たちの新たな可能性に気づくことができた。総合的な学習の時間のみの展開を想定していたが、全校集会でのネパールの研修報告を行い、情報の時間にもネパールに関する取り組み行うことができた。この取り組みが一過性のものではなく、今後の展開に継続的につなげていきたい。

#### 5. 課題

今回の授業の締めくくりでは、ネパールの交通安全ポスター作り、実際にネパールに送る取り組みを行った。このポスター作成は予定していたより多くの時間がかかった。ポスター制作に入る以前に、もっと多くの情報のリサーチを行い、正確な現地のニーズや言葉を調査する必要があった。また、絵を描くことが不得意な生徒もあり、「ポスター」というメディアのみに限定するのではなく、他のメディア（動画や音声、音楽などのメディア）も検討すべきであったのかもしれない。

ネパールの紹介からポスター作りまで、要領を得なかった部分もあった。「ネパールについての紹介」、「インターネットやメールを利用したリサーチ」、「メディアの考察」、「ポスターの製作」という、教科横断的な内容をすべて一人で行ったために、時間的な無理が生じてしまった。「社会」「情報」「美術」の教科間の連携を図りながら、学校全体で取り組めば、もっと内容を深めることができたかもしれない。

この取り組みを最後の一步ではなく、最初の一步としたい。

#### 参考資料

##### ・参考文献

「地球の歩き方 D29 ネパールと2016～2017」株式会社 ダイヤモンド・ビッグ社  
「タビトモ会話 ネパール」太田垣 晴子 JTBパブリッシング

##### ・参考ホームページURL

外務省 安全の手引き（ネパール） <http://www.np.emb-japan.go.jp/jp/anzen.pdf>  
外務省 海外安全ホームページ [http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_010.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_010.html)